

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 11月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	0174700864		
法人名	有限会社ひまわり		
事業所名	グループホーム土幌ひまわり館		
所在地	河東郡土幌町字土幌西2線166番地10 (電話) 01564-5-5122		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年10月12日	評価確定日	平成19年11月1日

【情報提供票より】(19年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成15年9月16日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.17人

(2) 建物概要

建物構造	木造	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000円	その他の経費(月額)	14,000~17,800円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		700円

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	3	要介護2	4		
要介護3	2	要介護4	0		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 80.1歳	最低	58歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	土幌町国民健康保険病院・神山歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は「住み慣れた地域で、自分らしく生活し続ける事を支援したい」という運営者の想いのもと開設された町内唯一の地域密着型サービスの事業所であり、家庭的で明るく落ち着いた雰囲気を持している。近隣には病院・保健センター・商店街があり、恵まれた環境に立地している。全職員が一体となって日々のケアサービスに取り組んでおり、また、地域との連携も密に取れており理解を得ている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価における課題であった運営理念の掲示方法について、利用者だけではなく家族・地域住民など来訪者も見やすい場所に分かりやすく掲示されており、改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員一人ひとりが自己評価を行って話し合い、具体的な改善に取り組みサービスの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議において事業所の運営状況・行事・苦情相談状況等について報告して話し合い、そこで出た意見を全職員が一体となってサービスの向上に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	重要事項説明書に苦情相談窓口を明示しており、事業所の掲示板にも掲示している。また、家族から意見・苦情等を受けた際は全職員で話し合い、日々のケアサービスに活かしている。また、町や運営推進会議にて報告し事業所の運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運動会・お祭り・老人会などの町内会の行事に利用者も一緒に参加したり、町内の高校生がボランティア活動で来訪するなど、地域との交流が積極的に図られている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービス」を盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有し、ミーティングや申し送り時に話し合っており日々理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運動会・お祭り・老人会などの町内会行事や地域の活動に利用者も一緒に参加しており、地域との交流が積極的に図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員一人ひとりが自己評価を行い、全職員で話し合っけてケアサービスの質の向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において事業所の運営状況・行事・苦情相談等の報告を行い、そこで出た意見を事業所の運営に反映させている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の担当者と連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	○	<p>町内唯一の地域密着型サービス事業所であるため、今後更に町の担当者と連携を取り、地域住民への理解を深めるよう働きかけることが期待される。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1度家族に便りを送付しており、利用者の暮らしぶりや金銭出納・健康状態等について報告している。また、受診の結果についても電話にて家族に伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に苦情相談窓口を明示したり事業所内に掲示している。また、家族から意見・苦情等を受けた際は職員間で話し合い事業所の運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が離職や異動する際は新旧職員が共にケアサービスを行う期間を設け、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は段階に応じた研修に参加する機会を多く設けており、職員は積極的に受講している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管内のグループホーム連絡協議会での研修会や交流会に参加したり、他事業所への見学会を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に事業所へ見学に来てもらい、他の利用者と過ごすことにより徐々に事業所の雰囲気に馴染めるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>調理・野菜作り・花壇作りなど、職員は利用者から教えてもらうことが多く、共に支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>食事の内容・入浴時間・外出先など、職員は利用者の意向の把握に努めている。また、ゴルフや山菜採りなどの野外活動の希望の把握に取り組んでいる。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人の希望を聞き家族や主治医も交えて話し合い、意見を反映した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月見直しを行っている。また、利用者が入院した際や体調に変化が生じた場合は職員間で話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院の際の送迎・付き添いや家族の宿泊対応など、柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者個々のかかりつけ医への受診支援を家族の協力を得ながら行っている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化や終末期に向けた方針について、本人・家族や医師を交えて話し合い、全員で方針を共有できるよう努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の誇りを損ねることのないような言葉掛けや対応を心掛けている。また、個人情報の取り扱いについても十分な配慮がなされている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は外出先や入浴の時間帯など一人ひとりのペースを大切に、その人らしい生活となるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の希望を採り入れた献立を作成している。また、食材の買出し・準備・後片付けなどその人の力を活かしながら利用者と職員と一緒にやっている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週に4回の入浴支援を行っている。また、一人ひとりの好みの温度やタイミングで入浴できるよう配慮しており、町の温泉に外出する機会も設けている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>裁縫・畑仕事・花壇作り・編み物など、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割や楽しみごとの支援を行っている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩・買い物・ドライブ・温泉・パークゴルフなど、一人ひとりの希望に応じた外出支援を行っている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけておらず、利用者の自由な暮らしとなるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	定期的に避難訓練を実施している。また、日頃から災害時持ち出し用の荷物をまとめているなど、災害時の備えも行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	職員は利用者の食事量・水分量を記録しており、把握している。また、一人ひとりの状態や習慣に応じた支援となるよう取り組んでいる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	玄関や食堂には季節の花が飾られ、居間や廊下には季節の写真が貼られるなど、利用者が季節感を感じ、居心地良く過ごせるような工夫がなされている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や好みの物が持ち込まれており、利用者本人が安心して過ごせるような空間となっている。		

 は、重点項目。